

表1 産業保健師新人期キャリアラダーの自己評価表(研修会3回分)の比較

知識 (4:とてもある, 3:ある, 2:あまりない, 1:ない)

実践状況 (4:十分にできている, 3:できている, 2:あまりできていない, 1:できていない)

項目	評価日 1年目達成目標	知識			実践				
		9/20	10/25	12/6	9/20	10/25	12/6		
総括管理	職場アセスメント	身体的、精神的、社会文化的、環境的側面から、客観的・主観的情報を収集し、事業場の健康アセスメントができる。	2.8	3	3	2.6	2.8	3	
	体制整備、運営	委員として、安全衛生委員会に参加し、他部門との連携ができる。	2.8	3	3.2	2.8	3	3.2	
	緊急事態への対応	健康危機管理マニュアルに従い、初期の対応ができる。	2.4	2.6	2.8	2.2	2.2	2.4	
	職場巡視(リスクアセスメント)	職場巡視を行い、職場の健康課題を明らかにすることができる。	2.8	2.8	2.8	2.4	2.6	2.8	
	適正配置	適正配置について、配慮すべき事項について説明でき、必要な支援について指導のもと、計画できる。	2	2.4	2.8	2	1.8	2.6	
	保健事業計画の立案	保健事業計画の立案について、予算管理の必要性について説明できる。	1.4	1.8	2.4	1.4	1.2	1.8	
	情報管理	業務上知り得た個人情報の管理ができ、指導のもと、自身の産業保健活動に関する情報管理が行える。	3.2	3.4	3.6	3.2	3.2	3.4	
	組織のヘルスゾーンへの参画(CSRへの貢献)	健康に関する方針と、健全な安全衛生体制のために、経営層などに提案することが必要であることを理解している。	2.6	3	3	1.4	2	2.2	
	平均	2.5	2.8	3	2.3	2.4	2.7		
専門職としての能力	健康管理	健康管理業務の企画・運営・評価	健康管理マニュアルに従い、職場に必要な健康管理業務を実践できる。	3	3	3.2	2.8	3	3
		健康診断	事業場の職業性疾患などについて理解し、必要な一般健康診断、特殊健康診断等の健康診断を行うことができる。	2.6	2.8	3	1.8	2	2.2
		事後措置	健康診断の結果について把握し、一般的な健康課題に対する事後指導(対個人)である狭義の保健指導が行える。	3	3.2	3.2	2.8	3	3
	健康管理	有害業務への対応	事業場内の有害業務について説明ができ、それに従事する者に対し、特殊健康診断やその職場の安全衛生の評価ができる	2	2.6	2.8	1.8	2	1.8
		休職・復職への対応	指導のもと、休職、復職への対応ができる。	3.2	3.4	3.2	2.8	3.2	3
		特別な配慮を必要とする人への支援	特定疾患を有する者、障害者や高齢労働者など、特別な配慮を有する個人に対し、どう両立支援すればよいのか説明できる。	2.2	2.6	2.8	2	2.2	1.8
		海外派遣労働者の健康管理	事業場の海外派遣労働者の健康管理の支援方法を理解し、標準的な対応ができる。	2.2	2.2	2.4	1.6	1.6	1.6
		過重労働対策	事業場の過重労働対策について理解し、標準的な対応ができる。	3.2	3.2	3.2	2.8	3.2	3.2
		メンタルヘルス対策	事業場のメンタルヘルス対策について理解し、個人・集団に対し標準的な対応ができる。	2.6	3	3	2.2	2.6	2.6
		感染症・食中毒対策	事業場の感染症、食中毒対策について理解し、標準的な対応ができる。	2	2	2.4	1.4	1.6	1.8
		健康教育	指導のもと、標準的な健康教育を企画し、実施、評価できる	2.8	2.8	2.6	1.8	2.2	2.4
		ヘルスプロモーション・健康づくり	国が進める健康づくり施策や地域職場連携などについて説明ができ、事業場内の健康情報を分析しながら、アセスメントできる。	2.2	2	3	2	2	2.4
			平均	2.6	2.7	2.9	2.2	2.4	2.4
作業環境管理	職場の作業環境測定や情報収集を行い、アセスメントし、職場の作業環境上の問題を明らかにすることができる。	2.4	2.8	2.8	2	2.2	2.4		
	指導のもと、快適職場などについて職場に指導が行える。	2.6	3	3	2	2.6	2.4		
	平均	2.5	2.9	2.9	2	2.4	2.4		
作業管理	作業管理について理解し、事業場内で行われている作業の危険・有害因子について把握できる。	2.8	2.8	2.8	2.2	2.4	2.2		
労働衛生教育	労働衛生教育について理解し、事業場に必要労働衛生教育を把握し、指導案に従って教育できる。	2.4	2.6	2.8	1.6	1.8	2.2		
組織人としての能力	事業場の理念・目標・役割・機能・基本方針・意思決定機構について説明できる。	2.2	3	3	2.2	2.8	2.6		
	担当業務の法的根拠等を説明できる。	2.6	3	3	2.4	2.8	3		
	実施した業務について、上司に報告・相談できる。	3.6	3.2	3.6	3.4	3.2	3.6		
	平均	2.8	3.1	3.2	2.7	2.9	3.1		
自己管理の能力	専門性の向上	必要な学会や研修会に参加し、自身の質の向上につなげることができる。	2.6	3.2	3.4	2.6	3.2	3.2	
	倫理	専門職としての倫理感を持ち、場に適した言動がとれる	3.2	3	3	3	3	3	
	研究	自身の産業保健活動の中から疑問点等を見いだし、文章化できる。	2.8	3	3	2.4	2.6	2.8	
	平均	2.9	3.1	3.1	2.7	2.9	3		
	平均	2.6	2.8	3	2.3	2.5	2.6		

表2 平成26年度産業保健師マスター期7が-自己評価まとめ (*:5人分の平均)

		評価日	知識			実践			
			10/4	11/8	12/23	10/4	11/8	12/23	
		マスターレベル(一人前)達成目標							
総括管理	職場アセスメント	身体的、精神的、社会的文化的、環境的側面から、客観的・主観的情報を収集し、事業場の健康アセスメントができ、健康課題を抽出できる	3.0	3.0	3.3	2.7	2.7	3.2	
	体制整備、運営	安全衛生委員会の委員として、その運営に参画し、積極的に発言することができる。	3.2	3.2	3.2	2.8	2.3	2.5	
		事業場内の他部門との連携が行える。	3.0	3.2	3.3	2.8	2.8	3.0	
	緊急事態への対応	健康危機管理マニュアルを理解し、行動できる。	2.7	2.8	3.0	2.3	2.2	2.8	
	職場巡視(リスクアセスメント)	職場巡視を行い、職場の健康課題を明らかにし、優先順位をつけることができる。	3.2	3.0	3.0	2.8	2.7	3.2	
	適正配置	適正配置における支援および配置後の適応状況等に関する支援ができる。	3.2	3.0	3.2	2.8	2.7	2.5	
	保健事業計画の立案	自身の保健事業計画の立案に関する予算管理が行える。	2.0	2.7	2.7	1.8	1.8	2.3	
	情報管理	業務上知り得た個人情報等の管理ができ、自身の産業保健活動に関する情報管理が行える。	3.0	3.2	3.5	3.0	3.0	3.2	
	組織のヘルスポリシーへの参画(CSRへの貢献)	健康に関する方針と、健全な安全衛生体制のために、経営層などに提案することが必要であることを理解し、自分がおかれている事業場の状況についてアセスメントすることができる。	2.8	2.8	3.3	2.2	1.7	2.3	
	専門職としての能力	健康管理業務の企画・運営・評価	事業場の健康管理上の問題を明らかにし、必要な指導等が行える。	2.8	3.2	3.5	2.7	2.7	3.2
健康診断		一般健康診断、特殊健康診断等の企画、実施、評価ができる。	3.0	3.5	3.5	3.0	3.2	3.2	
事後措置		健康診断の結果について把握し、健康課題に対する事後指導(対個人)である。狭義の保健指導が行える。	3.2	3.7	3.7	3.2	3.3	3.5	
		一定の健康課題に対する事後指導(対組織)が行える。	3.0	3.3	3.5	2.7		2.8	
有害業務への対応		事業所内外のさまざまな有害業務に関する知識を有し、従事する者に対し、特殊健康診断やその職場の安全衛生の評価と改善策の提案ができる。	2.3	* 2.6	2.7	2.2	* 2.4	2.2	
		有害業務に関連する体制やシステムなどを構築したり、改変できる。	2.2	* 2.4	2.5	1.8	* 2.0	1.7	
休職・復職への対応		医療機関や他部門と連携し、休職、復職への対応ができる。	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	
特別な配慮を必要とする人への支援		特定疾患を有する者、障害者や高齢労働者など、特別な配慮を有する個人に対し、両立支援ができる。	2.8	3.0	3.0	2.3	2.8	3.0	
健康管理		海外派遣労働者の健康管理	他部門と連携し、海外派遣労働者の健康管理ができる。	2.7	* 3.2	3.0	2.2	* 2.6	2.0
健康管理		過重労働対策	過重労働の対象者の把握および対策の計画立案・実施・評価ができる。	3.2	2.8	3.2	2.3	2.3	2.5
	個別の事例に対し、指導が行える。	3.2	3.3	3.5	3.0	2.5	2.8		
健康管理	メンタルヘルス対策	メンタルヘルス対策の対象者の把握および対策の計画立案・実施・評価ができる。	3.0	3.3	3.3	2.7	2.5	2.7	
		個別の事例に対し、指導が行える。	3.2	3.3	3.5	3.2	3.2	3.5	
	感染症・食中毒対策	感染症、食中毒対策の対象者の把握および対策の計画立案・実施・評価ができる。	2.7	2.7	3.0	2.2	2.0	2.8	
		個別の事例に対し、指導が行える。	2.8	3.2	3.2	2.7	2.8	3.0	
	健康教育	職場診断から、戦略的に健康教育を行っていく意味を説明できる。	3.2	3.0	3.3	2.8	2.3	2.8	
		健康教育を適切に計画・実施・評価・改善ができる。	3.0	3.2	3.3	2.7	2.8	3.2	
	ヘルスプロモーション・健康づくり	国が進める健康づくり施策や地域職域連携などを活用しながら、事業場内の健康問題をアセスメントし、健康づくり活動として企画立案、実施、評価ができる。	2.7	2.7	3.2	2.2	2.7	2.7	
	作業環境管理	職場の作業環境上の問題を明らかにし、必要な解決策について提言できる。	2.7	3.0	3.2	2.5	2.3	2.5	
		快適職場などについて職場に指導が行える。	3.0	3.2	3.3	2.7	2.7	2.7	
	作業管理	事業場の作業管理上の問題を明らかにし、必要な解決策について提言できる。	2.7	2.7	3.2	2.5	2.5	2.7	
労働衛生教育	必要な労働衛生教育について、計画立案、実施、評価ができる。	2.8	2.8	3.2	2.7	2.3	2.8		
組織人としての能力	事業場の理念・目標・役割・機能・基本方針・意思決定機構について説明できる。	3.2	3.2	3.2	2.8	2.7	2.8		
	担当業務の法的根拠等を説明できる。	2.8	3.2	3.2	2.8	2.7	2.8		
	業務について、上司に報告・相談できる。	3.5	3.7	3.8	3.5	3.7	3.8		
自己管理	自己啓発の能力	専門性の向上	必要な学会や研修会に参加し、自身の質の向上につなげることができる。	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3
		指導のもと、学会発表ができる。	2.8	2.7	3.0	2.0	1.8	2.2	
	倫理	専門職としての倫理感を持ち、組織のリーダーとしての言動がとれる	2.8	2.8	3.2	2.2	2.3	2.3	
	研究	指導のもと、研究テーマを設定し、研究を展開し、学会発表を行うことができる。	2.8	2.7	3.0	1.7	1.8	2.0	

表3 平成26年度産業保健師新人期研修会アンケート結果

内容の理解 4:とてもできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった
 # 今後への活用 4:十分にできる 3:できる 2:あまりできない 1:できない

		内容	理解度の平均	今後の活用の平均	
第1回	9/20	午前	1. 現在の産業構造, 産業看護とは 労働衛生の5管理, 産業保健師の機能	3.2	3.2
			午後		
				3. 職場のリスクマネジメント(1) 職場巡視	3.4
			4. 職場のリスクマネジメント(2) KYT	3.4	3.2
	9/21	午前	1. 職場組織診断について	3.2	3
			2. 組織からの健康支援の実際	3.2	3
			3. 保健指導について	3.6	3.6
		午後	4. 保健指導の実際	3.2	3.4
			5. 企業人としてのビジネススキル	3.2	3.6
	平均			3.3	3.3
第2回	10/25	午前	1. 健康教育の展開方法とその実際	3.8	3.6
		午後	2. 事例発表・まとめ	3.6	3.6
	10/26	午前	1. 職場分析・SWOT分析等	3	3.4
			2. 組織分析の実際	3	3.2
		午後	3. 健康教育演習	3.2	3.2
	平均			3.3	3.4
第3回	12/6	午前	1. 素敵な保健師さんに会おう!	4	3.8
			2. キャリアをどう積んでいくのか	3.6	3.6
		午後	3. 保健事業計画と健康教育実践	3.8	3.8
			4. アクションチェックリストについて	3.6	3.6
	12/7	午前	1. 職場巡視と有害業務	3.2	2.6
			2. 職場巡視の実際	3.6	3.2
		午後	3. ストレスチェックと保健指導	3.4	3.8
			4. 保健指導 (過重労働・メンタルヘルスなど)	3.4	3.8
平均			3.6	3.5	

表4 平成26年度 産業保健師マスターレベル(5年期)研修会アンケート結果

内容の理解 4:とてもできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった
 # 今後の活用 4:十分にできる 3:できる 2:あまりできない 1:できない

		内容	理解度平均	今後の活用平均
10/4	午前	1. 企業のリスクマネジメントとヘルシーカンパニー, CSR経営	3.8	3.5
	午後	2. ケースメソッド・ディスカッション	3.8	3.7
11/8	午前	1. 組織の基本	3.7	4.0
		2. 保健事業におけるPDCA	3.7	3.8
	午後	3. プレゼンテーション (課題) 管轄職場の健康問題に関する困難事例とその原因の分析、解決のための事例へのアプローチや仕組みについて	3.7	3.5
12/23	午前	1. プレゼンテーション ~安全衛生委員会でアピールする~	4.0	4.0
	午後	2. SWOT分析 ~リーダーを目指して~	3.7	3.7
		3. 産業保健師としての倫理, まとめ	4.0	4.0
		平均	3.8	3.8

新人期の研修風景 1



新人期の研修風景 2 . 事例の検討



マスター期の研修風景

